令和元年　第１７回　川口市教育委員会定例会会議録

日　時　令和元年１０月２３日（水）
　　午後１時３０分
場　所　川口市教育局教育委員会室

１　出席者

教育長	茂　呂　修　平	書記長	稲　垣　雅　世
委　員	齋　藤　　卓	書　記	栗　原　　栄
委　員	宿　谷　岩　男	書　記	菅　井　　学
委　員	中　田　裕　之	書　記	戸井田　昌　也
委　員	菅　原　京　子		

２　説明のため出席した者

生涯学習部長	間　中　浩　之
学校教育部長	山　田　浩　一
教育総務課長	稲　垣　雅　世
生涯学習課長	佐　藤　健　一
文化推進室長	江　原　季　佳
文化財課長	風　間　祐　司
中央図書館長	折　原　直　人
科学館長	髙　山　久美子
スポーツ課長	濵　田　武　徳
庶務課長	石　田　英　樹
学務課長	森　田　吉　信
指導課長	三　浦　伸　之
学校保健課長	内　田　大　輔
高等学校事務長	長　澤　章　臣

３　前回会議録の承認

茂呂教育長　　第１６回教育委員会定例会会議録については、書記より、各委員に事前配付している。質疑があればお聞かせ願いたい。

【質　疑】　　（質疑なし）

【承　認】　　（全員異議なく承認）

４　教育長報告

（１）学校における食物アレルギーに関わる検討委員会の報告について

【説　明】　（学校保健課長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】

齋藤委員　本検討委員会は今年度からの取り組みか。

学校保健課長　今年度立ち上げ、現在までに２回開催している。

齋藤委員　立ち上げたきっかけは何か。

学校保健課長　食物アレルギーを持つ児童生徒が多いので、各学校によって最低限度守るべき事項の統一を図るため立ち上げたものである。

齋藤委員　実際に学校で、児童生徒にアレルギーの発作が起きた場合にどのように対処すれば良いのか、マニュアル等はあるのか。例えば、エピペンの使い方などの詳しいマニュアルは用意しているのか。

学校保健課長　食物アレルギーの対応マニュアルを現在作成しており、今後学校に配布できるように検討していきたい。

齋藤委員　エピペンは実際にやってみないとうまく使えないケースが多いため、年度に一回でも学校の教職員の方々にトレーニングを積んでいただきたいと考えている。

学校教育部長　学務課の南部教育事務所人事・学事担当学校訪問で保健室に入り養護教諭にエピペンに関する質問を必ずし、注意喚起している。エピペンを持っている児童生徒がいる学校は４月当初に研修を行い練習キットなどで練習している。

齋藤委員　命に関わることなので、全く経験のない教諭がいないようにしていただきたい。

菅原委員　資料１ページ１（３）に「食物アレルギーのある児童生徒数の推移」とあるが、小中学校の食物アレルギーを持つ児童生徒数を教えていただきたい。

学校保健課長　小学校 1,438 名、中学校 590 名、合計で 2,028 名である。そのうち、学校給食で対応しているのは小学校 774 名、中学校 255 名、合計で 1,029 名である。

【承　認】　（質疑応答後、全員異議なく承認）

５　協議事項

なし

６　議　事

なし

７　その他

（１）「令和元年度埼玉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」及び「令和元年度埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール」の受賞者について

【説　明】　（学校保健課長が資料に基づき説明した。）

【質　疑】　（質疑なし）

【承　認】　（全員異議なく承認）

（２）台風１９号にかかる対応状況について

【説　明】　（各課長が口頭にて説明した。）

【質　疑】

菅原委員　元郷小学校に避難者が多かった理由はどのような理由が推測されるか。

学務課長　理由として推測されるのが、元郷小学校は荒川に近く、近隣に高い建物が比較的少ないことなどが考えられる。

菅原委員　教育局内の状況はわかったが、川口市内全体の被害状況はどのようなものかわかる範囲で教えていただきたい。

教育総務課長　１０月１７日の１５時３０分現在の被害状況が防災課から情報提供があり床上浸水が５２件、床下浸水が４５件という報告を受けている。

【承　認】　（質疑応答後、全員異議なく承認）

８　閉　会

茂呂教育長　以上をもって閉会する。（午後２時１６分）